

RESPONSE RING

RESPONSE UP & TORQUE UP

この度は弊社製品<RESPONSE RING>をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。本製品はインテークダクトに装着し、吸気流速の向上によりエンジンレスポンスを高めるために制作された製品です。*レスポンスリングは文中ではなくリングと略して記載されています。

本製品を安全にご使用して頂く為に、装着ならび使用の前に必ず本説明書を読んで、内容を十分に理解のうえ取り付け作業をおこなって下さい。

お願い! 本製品は性能向上、適合追加他の理由により、頻繁に取り扱い説明書の変更をおこなっております。お手元の取り扱い説明書のVol番号が最新でない場合はご面倒でも当社ホームページ上の取り扱い説明書を参考に貼り付け、調整をおこなって下さい。

警告 死傷につながる恐れがある事故を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- 取り付け作業はエンジンを停止させ、専用設備をもった安全な場所でおこなって下さい。必ず専門の業者に依頼して下さい。
- 作業はエンジンが十分に冷えた状態にて行って下さい。エンジンが高温の状態にて作業した場合、やけど等の危険があります。
- 取り付け後、エンジン不調等の障害が発生した時は、ただちに使用を止めて下さい。

注意 負傷または、車両や商品の損傷を未然に防ぐ為の事項を示してあります。

- ネジの締め忘れ、ダクトの吻合の不具合がある場合は、エンジンが不調をきたす可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- ダクト内にネジ、ゴミ等が落下してしました場合、エンジン破損の可能性があります。慎重に作業をおこなって下さい。
- 製品を加工もしくは改造して使用した場合、当社では一切責任を負うことが出来ません。

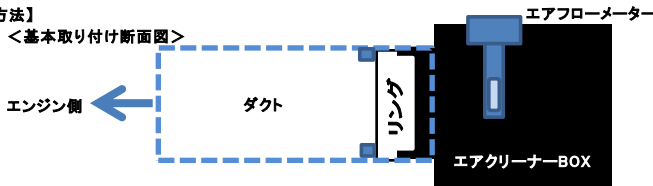


注意

●リングの戮力所にアルマイト加工時の塗りむらがありますがキズ等ではございません。ご了承下さい。

【取り付け方法】

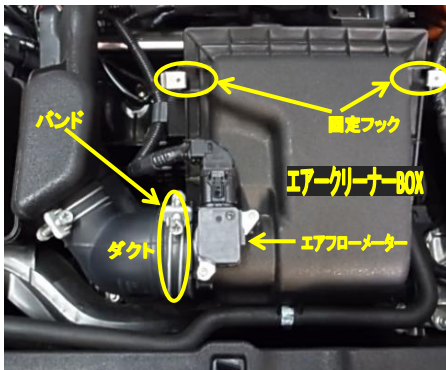
<基本取り付け断面図>



- 取り付け断面図です。作業の参考にして下さい。
- 一部車種はエアクリナーBOXのフタがネジ止めされており非常に外しにくい構造になっています。この場合はゴムブーツのみを外し、リングを装着して下さい(日産車に多くみられます)

<作業手順>

- 作業はエアフローメーターのコネクターを抜く場合があります。エンジンを停止させ10分以上経過してから作業を開始させて下さい。
- * エンジン停止直後にカバーを抜いた場合、エンジンチェックが点灯してしまう場合があります



- ①エアクリナーBOXとダクトを接続しているバンドのネジを緩めます。
- ②エアクリナーの固定フックをはずし、エアクリナーのフタを浮かせます。
* 固定フックは2~4箇所あります。一部車両はフタがはずれません。



注意

- ③エアクリナーとダクトを切り離します。
* ダクト内にネジ、ゴミを落下させぬよう細心の注意を払って作業を行って下さい。



注意

- ④エアクリナーBOXにリングを差し込みます。
* 車両によってはリングが『ややゆるい? ややきつい?』が出ます。『ややきつい?』場合はリング側面に潤滑剤を塗り、挿入して下さい。
* リングは装着方向があります。小さい径の部分がエアクリナー側になります。

- ⑤リングを差し込んだ状態で、ダクトを被せます。
* ダクトは奥まで差し込みます。
* リングの厚さが4mmある為、ダクトは4mm浮いた状態になりますが、問題ありません。



注意

- ⑥エアクリナーBOXの固定フックを止め、バンドのネジを締めます。
* バンドのネジは適度なトルクで締めて下さい。



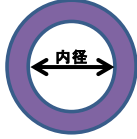
<トヨタ20アルファード・ベルファイアハイブリッド車 作業手順>



- この車両はエンジン奥に取り付け部があります。作業工程が多い為、必ず専門店にて取り付け作業をおこなって下さい。なお作業時間の目安は1h程度です。
- ①エンジン上のエアクリナーBOX手前のゴム蛇腹ホースを外して下さい(10mmを2箇所緩める)
- ②エアクリナーBOXの固定フック2箇所を外し、エアクリナーBOX前部を完全に脱着して下さい。
- ③エアクリナーBOX後部を固定しているネジ2本を外して下さい(10mmボルト)
- ④エンジン奥のエアクリナーBOX後部より出ているダクトのバンドを10mmボックスラatchetレンチにて緩めて下さい。
- ⑤エアクリナーBOXと奥のダクトを揺すりながら切り離して下さい。
- ⑥エアクリナーBOX側へリングを装着して下さい。
- ⑦取り外し時とは逆の手順にてクリーナーBOX等を組み付けて下さい。

【リングの交換】 *セット仕様の場合

- 2タイプのリングが入っている仕様では、下記の特性を目安にリングの装着をおこなって下さい。
走行条件、好みにより最適なリングを選択し、走行をお楽しみ下さい。



内径が小さいリング

低中速域のトルクUPをねらって開発されたリングです。街中走行が多い車両に最適です。

内径が大きいリング

全域のレスポンスUPをねらって開発されたリングです。比較的高速走行が多い車両に最適です。

【使用上の注意点】



- エンジンを始動させ、異音、不調等が発生した場合はすぐにエンジンを停止させて原因を解決してからリングを使用して下さい。

【MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用について】

MINICON、MAP CONTROLLERとの同時使用はレスポンスリングの性能をさらに引き出します。是非使用されることを推奨致します

【トラブルチェック】

<リングの挿入ができない>

- バンドを締めすぎている場合、まれにエアクリナー側ダクトが楕円形状に変形してしまいリングが装着出来ない場合があります。
変形したダクトを修正してからリングを装着して下さい。
- 社外品のインテークキット、コアタイプエアクリナーが装着されている場合、リングのサイズが標準品とは異なる場合があります。

<リング装着による変化が感じられない>

- 車両がECOモードになっていると、レスポンスリングの効果が感じにくい場合があります。スポーツモードでの使用をお勧め致します。

<アイドリング不調><吹け上がらない>

- エアフローメーターのカプラーが確実に挿入されているか？確認して下さい
- ダクトが確実に挿入されているか？エア漏れがないか？確認して下さい。

<高回転がノーマルより伸びない>

- 本来レスポンスリングは低中回転域のエンジンレスポンスを向上させる目的で開発されました。高回転域を多用する状況(サーキット走行他)では一旦リングをはずすことをお勧め致します。

<最大ブースト圧が下がる/ターボ車の場合>

- 本製品は低中速域のレスポンス、トルクUPを目的とされて設計してあります。フルブースト時のパワーを求めるドライビングをする場合は、一旦リングを脱着することを勧め致します。

<エンジンチェックが点灯した場合>

- エアクリナーが詰まっている場合、O2センサーが異常と判断しエンジンチェックを点灯させる場合があります。
エアクリナー周りの清掃及びエアクリナーの新品交換をおこなって下さい。
- ノーマル状態にて、(走行-エンジン停止)の正常な状態を3回以上繰り返すとエンジンチェックは消灯する場合があります。もしくはカーディーラー等専用機器のある工場にてエンジンチェックランプを消してもらって下さい。

【類似品について】



- 本製品の制作にあたっては特許出願をおこなっています。特許に抵触する類似品等の使用は絶対に避けて下さい。
違反品を装着使用された場合、お客様にご迷惑をかける場合がございます。

【参考！ 社外品インテークキットとの組み合わせ】

- 社外品のインテークキットが装着されている場合、エアクリナーBOXが車両の純正品であればリングは装着可能です。
- 通常取り付けと同じ要領で、リングを取り付けて下さい。
- リングの固定が不安定な場合、インテークキットのゴムブーツの上から、タイラップバンド等を巻き付けて、リングの固定をおこなって下さい。

